

平成 29 年 7 月

関係各位様

2017 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会及び表彰式
開催のお知らせ

建設マネジメント委員会

土木学会 建設マネジメント委員会（委員長 三百田 敏夫）では、多数の研究小委員会（2017 年度：14 テーマ）を設け、建設マネジメントに関する研究活動を実施しております。これらの研究成果を広く社会に還元するため、本年も表彰式と併せて研究成果発表会を開催します。貴組織の関係者の皆様にもご案内いただければ幸いです。多数のご参加をお願いいたします。なお、本発表会は「土木学会認定 CPD プログラム」の対象となっております。

行 事 名：2017 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・表彰式

行事コード：45706

主 催：土木学会 建設マネジメント委員会

日 時：平成 29 年 8 月 1 日（火）13:00～17:00（終了時刻は変更する可能性があります）

場 所：土木学会講堂 新宿区四谷 1 丁目（外濠公園内）TEL 03-3355-3559

参 加 費：無 料（資料代 1,000 円）

定 員：120 名（申込先着順）

申 込 方 法：土木学会行事の HP (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) からお申し込み下さい。

申込締切日：平成 29 年 7 月 21 日（金）

問 合 先：(社) 土木学会 研究事業課 建設マネジメント委員会担当：杉岡

TEL：03-3355-3559 / E-mail：sugioka@jsce.or.jp

詳 細：発表会プログラムは次頁以降参照。

2017 年度 建設マネジメント委員会

研究成果発表会及び表彰式

主催:土木学会 建設マネジメント委員会

日時:平成 29 年 8 月 1 日(火) 13:00~17:00 (終了時刻は変更する可能性があります)

場所:土木学会講堂

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3559

(JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩 3 分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅の 3 番出口より徒歩 3 分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩 5 分)(<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml> にて地図を入手できます。)

参加費:無料(資料代 1,000 円)

申込:下記のページからお申し込み下さい

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)

13:00~13:05

開会の挨拶 :建設マネジメント委員会 三百田 敏夫 委員長

【表彰式】

13:05~13:15

表彰発表 :表彰小委員会 松本 直也 小委員長

13:15~13:20

表彰状授与 :建設マネジメント委員会 三百田 敏夫 委員長

13:20~13:40

論文賞・論文奨励賞 受賞論文概要紹介

13:40~13:50

グッド・プラクティス賞 概要紹介

13:50~14:00

優秀講演賞 受賞者紹介

14:00~14:15

休 憩

【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。

14:15~15:00

**インフラ PFI/PPP 事業の体系的効果計測手法の開発に向けて
～事業の価値を高める VFM 評価とマネジメントの提案～**

<テーマのポイント>

- ・公共事業選択基準としての VFM の課題解決と適用の重要性
- ・VFM による事業方式選択の理論的意義づけ
- ・公共事業を効果的に進めるための民間発意型 PFI/PPP の課題整理と考察
- ・VFM マネジメントによる事業価値の向上方策にむけて

<発表内容>

PFI 適用に係る従来の VFM 評価方法は、必ずしも厳密な理論的背景を踏まえているわけではなく、PFI によりライフサイクル費用が削減されるという前提に基づいている。このことは、民間のノウハウを導入することを意図したこの方法に対して、適切な事業方式選択のための指標とはなっていないことを意味する。本発表は、公共事業選択基準としての VFM の重要性の確認と理論的意義づけを試みるとともに、近年着目されている民間発意型 PFI/PPP の課題を整理し、さらに、VFM を事業価値向上の手段として捉えた VFM マネジメントの考え方の提案に向けた内容を紹介することとする。

**インフラ PFI/PPP 研
究小委員会
(第 1 種)**

宮本 和明 (東京都市大学)、北詰 恵一 (関西大学)、
大西 正光 (京都大学)

15:00~15:20

**環境修復事業を介したマネジメント手法・環境教育・グローバリゼーションに
関する調査研究**

<テーマのポイント>

- ① 環境修復事業のマネジメント
 - ・環境修復事業へ上位マネジメント手法導入について
- ② 環境教育
 - ・土木系の環境教育について
- ③ グローバリゼーション
 - ・アジアの環境政策について

<発表内容>

- ◎環境修復事業へ上位マネジメント手法導入について
CM、PM、PgM (プログラムマネジメント) 及び PfM (ポートフォリオマネジメント) 導入に関する考察
- ◎土木系の環境教育について
環境教育の現状と土木的要素を加えた提案
- ◎アジアの環境政策について
環境修復事業に関連する開発途上国の環境問題について、アジア地域の環境法政策の現状を探る。

**環境修復事業における
プログラムマネジメン
ト研究小委員会
(第 2 種)**

下池 季樹 (国際航業株式会社)

15:20~15:45

工事進行基準に関する先行研究調査に関する一考察

<テーマのポイント>

工事進行基準を含む収益認識基準は、ここ数年紆余曲折して現状に落ち着いた。しかし、2018年1月1日からの運用次第で、さらなる変革が必要になるのではないかと考えられることを先行研究調査から考察する。

<発表内容>

IASBは、現在のところ新収益認識基準のIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の発効日を2018年1月1日とし強制適用を求めている。この中には従前の工事契約に関する会計基準は「一定の期間にわたり充足される履行義務」として35に掲載されている。先ず第一に収益認識プロジェクト及び工事進行基準に関する5論文を基に論点を整理し、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」のうち特徴となる5つのステップが工事進行基準にどのように適合するかをまとめ、我が国の企業会計基準のうち、工事契約に関する会計基準の適用と実態をまとめた。さらに、IFRSの工事契約に関する会計及び税法の相違をまとめ、我が国の企業会計基準第15号及び法人税法第64条、法人税法施行令第129条の会計と税法の相違をまとめた。また、我が国における工事進行基準の適用に関する監査上の取扱いに関して会計上の見積り及び見積額の算定に関して検討すべき事項をまとめ、今後の対応を示す。

工事進行基準研究小委員会（第2種）

山田 貴久（東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社）

15:45~16:00

休憩

16:00~16:25

公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン(仮称)

<テーマのポイント>

土木分野へのデザインコンペの導入・普及を目指して、当小委員会では、年内に発注者向けの実施ガイドラインの出版を予定している。今回はその概要を報告する。

<発表内容>

1. 活動の背景と目的
2. 法的環境の整備（改正品確法）
3. 編集方針とガイドラインの構成
4. ガイドラインの要点

公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン研究小委員会（第2種）

久保田 善明（富山大学）

16:25~16:50

建設マネジメント力の実態調査結果の分析とこれを踏まえたその後の取り組みについて

<テーマのポイント>

建設マネジメント力の評価シートによる実態調査結果の統計分析結果と、これを踏まえた今後の研究活動についての提案

<発表内容>

発注者、コンサルタント、施工者の建設マネジメント力を分析する評価シートを開発し、これにより技術者200人に自己評価を行ってもらった。その結果について統計分析等の詳細な検討を行った。その概要は2016年12月の建設マネジメント研究発表・討論会で発表しているが、そこで発表できなかった内容を含め、調査結果の全容を報告する。あわせて、この調査結果を踏まえた今後の研究活動

について方向を示し、参加者のご意見を伺いたい。

建設技術力研究小委
員会（第3種）

木下 賢司（株式会社熊谷組）

16:50~17:00

閉会の挨拶：運営小委員会 今村 博行 小委員長



■問い合わせ
：公益社団法人 土木学会
研究事業課 建設マネジメント委員会
担当 杉岡

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3559
E-mail: sugioka@jsce.or.jp


土木学会
The Construction Management Committee
建設マネジメント委員会